

(総合計画後期基本計画から)

市の取組に対して、市民、各種団体・事業者等の皆さんに期待する役割

市 民	各種団体・事業者等
- 防災訓練、学習会、ボランティア活動などへの参加 - 市民総合健診（特定健診、がん検診）の受診による健康意識の向上 - 地域と学校が連携した、子どもたちの安全・安心な環境づくり - 地元農畜産物や水産物の地産地消 - 市政情報の収集や市の魅力発信 - 市民一人ひとりの多様性を認め合い、共に支え合える地域づくり など	- 子育てと仕事が両立できる職場環境づくり - 就労などを希望する障害者の積極的な受入（障害者の社会参加への協力） - 子どもの職場体験学習の機会の提供など教育活動への積極的な参加 - 商品開発や販路開拓、経営改善などの取組 - コミュニティセンターなどを活用した、地域の課題解決に向けた取組 - 市民や地域と協働した活動 - 再生可能エネルギー利用設備の導入など、環境に配慮した脱炭素社会実現に向けた事業活動 など

市民

市役所

各種団体・事業者等

行政

協働のまちづくり

※第2次たつの市総合計画後期基本計画は、企画課、各総合支所地域振興課、各図書館に配架しています。
また、市ホームページ（右記QRコード）からもご覧いただけます。



災害に強い森づくりのため、地域住民と協働し里山整備を行うことで、森林が持つ多面的機能の維持、向上に取り組めます。

また、治水安全性の向上を図るため、国と連携し、河川改修や避難路整備等を推進するとともに、堆積土砂の浚渫や立木伐採等、防災・減災

その1

自然を大切にし、共に暮らす

・自然環境の保全と整備
・緑化の推進

第1の柱

安全・安心なまちづくりへの挑戦

自然を守り、だれもが安全に安心して住み続けられるまち

令和4年度

主要施策の概要

まちの将来像を実現するため、まちづくりの目標として5つの「施策の大綱（柱）」を定めており、その柱に沿って令和4年度の主な取組内容を紹介します。



ご家庭に眠っている食品を持ち寄り、それを必要としている団体や施設に提供する、フードドライブ事業を実施

その2

持続可能な社会をつくる

・廃棄物処理対策の推進
・地球環境の保全

食品ロス削減のため、フードドライブや事業系食品廃棄物の削減に取り組むとともに、小型家電品の拠点回収や集団資源回収を支援することで、限りある資源を有効活用し持続可能な循環型社会の構築を目指します。

第2次たつの市総合計画後期基本計画がスタートします！

企画課（☎64・3141）



みんなで創る 快適実感都市「たつの」

たつの市では、平成29年にまちづくりの指針となる「第2次たつの市総合計画」を策定し、まちの将来像「みんなで創る快適実感都市 たつの」の実現に向けて様々な施策を実施してきました。

計画策定から5年が経過し、少子高齢化の進行や新型コロナウイルス感染症の発生、デジタル技術の進展といった社会の変化等に対応した、令和4年度を始期とする「後期基本計画」を策定しました。

総合計画とは

長期的な展望に立った、まちづくりの各分野（防災、福祉、教育、産業、観光など）の個別計画の基本となるもので、市の最上位計画となります。

今後のまちづくりについて、市民、各種団体・事業者の皆さんと共有し、協働で取り組むための指針となるものです。（基本構想、基本計画（前期・後期）、実施計画で構成しています）

後期基本計画策定のポイント

- 市民アンケート調査や市長対話広場事業を通じて把握した地域のニーズや市民ワークショップでの意見を整理し、本計画へ反映しました。
- 市民、各種団体・事業者等が取り組むこと（期待する役割）を前期基本計画に引き続き記載しました。
- 国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）について、「誰一人として取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」という理念は、市政推進において大変意義深いものであるため、本計画の各施策をその理念に照らして推進します。